

孤独死・孤立死について

質問者 古 宮 郁 夫

内閣府は、孤立した状態で亡くなった（死後 8 日以上経過して発見）とみられる人数を初めて推計し公表した。2024 年において、2 万 1, 8 5 6 人で、男性 1 万 7, 3 6 4 人・女性 4, 4 6 6 人・不詳 2 6 人である。同年 4 月施行の孤独・孤立対策推進法では、孤独や孤立を「社会全体の課題」と位置づけている。多死社会の到来、未婚率の上昇と高齢者の単独化など、さまざまな社会問題が混在する中、町の取り組みを問う。